## 指定管理者モニタリングレポート(令和6年度)

作成日 令和7年6月5日

施 設 名	みのかも健康の森					
所 在 地	美濃加茂市山之上町7559番地					
指 定 管 理 者	名 称 可茂森林組合 代表者 代表理事組合長 可児 登 住 所 加茂郡七宗町神渕9756番地1					
指定期間·選定方法	令和3年4月1日から令和8年3月31日 <del>公募</del> ・非公募(任意指定)					
モニタリング の 実施方法等	<ul><li>○ 運営経費の支出状況や収入状況、金銭管理等の確認</li><li>○ 管理運営の手法や運営理念の確認</li><li>○ 現地事務所にて帳簿確認や聴き取りにより実施</li></ul>					
担 当 課 (問合せ先)	産業振興部 農林課					

### モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

○ 前年度の来園者数 68,310 人に対し、今年度は 79,043 人(+10,733 人)と大幅に増加し、目標の来園者 73,000 人に到達した。

継続開催される行事も増えてきたため、安定して集客できる手法を構築する必要がある。

○ 収支については、2,088 千円の赤字となり、これで8年連続となる。来園者数は増加したが、主たる収入源である、食堂やバーベキュー売り上げは前年比で減収となっている。急激な物価上昇による原材料費・人件費の値上げ、猛暑によりバーベキュー利用者減が減収の一因と考える。

自主事業、企業連携事業を積極的に開催しているが、そのほか安定的な収入源の確保が必要である。

#### ①経営分析に関すること

○ 来園者数は増加傾向にあるものの、物価上昇や猛暑といった外的要因の影響を受けやすい食堂・バーベキュー事業は減収となり、燃料費や原材料費、電気代など運営コストも増加した。一方で、外的要因の影響を受けにくい、売店販売やイベント開催においては増収が見られた。このことから、外的要因に左右されにくい、安定的な収益源の確保に向けた取組みを進めていることがうかがえる。

### ②事業計画・実施事業に関すること

- 行事終了後には、関係者と事業実施において気が付いた点、改善した方がいい点などを洗い出し、翌年度の 開催に向けよりよい事業を実施できるよう心掛けていた。
- BBQ 施設で使用する炭、薪ストーブには、園内や市内で伐採された不要木や間伐材を使用するなど、経費の削減に努めるとともに環境にも配慮していた。
- ワイヤー遊具(ツリートップアドベンチャー)については、市外の同遊具の事故の原因究明が完了していないため運営できない状況にある。

#### ③経理に関すること

- 支払先の取引銀行と同じ銀行(農協・十六銀行)に口座を設け、適切に使い分けることで、支払手数料の軽減に取り組んでいた。
- 農協のネットバンキングを活用し、振込手数料の軽減に努めていた。
- 簿記に精通したものが経理を担当しており、帳簿等が適正に管理されていた。
- 支出は、請求書とともに支出命令票を作成し、園長と森林組合で確認し適正に管理していた。
- ○金庫・レジの現金・鍵の管理は、適正に行われていた。
- ○指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分できていない。

#### ④施設管理に関すること

- 施設内の日々の見回りにより常時遊具等の状況を把握し、必要に応じてその都度整備・修繕を行っていた。また、緊急の場合には即時に市担当者へ連絡がなされていた。
- ○軽微な修繕を積極的に実施する等、適正に施設を維持管理する姿勢がみられた。
- 施設の鍵を複数の者が所持することにより、緊急時に対応できるよう配慮していた。
- 閉園時の駐車場利用者への対応として、園内放送・捜索を行い、所有者が現れない場合は、連絡先を明記した貼り紙をするなど、適切に管理していた。
- ○消防訓練・避難訓練・救命講習を実施し、利用者の安全確保に努めていた。

#### ⑤サービスに関すること

- 来園者に事故があった場合などには、状況を的確に判断し誠実に対応し、対処後市へ事故報告を書面で行い、注意喚起の掲示を設置するなどの善後策を取る体制が整えられていた。
- 園内の職員で対処できない問題(苦情等)については、組合・市に相談し対処する体制が整えられていた。
- ○アンケート用紙を常置し、提出された内容の集計を定期的に行い、その内容を職員に周知することによりサービスの向上に努めていた。

#### ⑥その他

- ○情報発信は、HP への掲載、農林課から広報・記者クラブへの情報提供、管理棟内の掲示板に加え、SNS 等を活用し幅広い広報活動を行っているが、集客に向けたさらなる情報発信が求められる。
- ○森林空間を活用したイベントを継続して実施しており、連携事業を拡大するなどの取り組みがみられた。

### <施設担当課>

# 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和6年度)

<mark>総合評価</mark> B

<u>実 施 日 令和7年6月5日</u> 担 当 課 農林課

対象施設	みのかも健康の森	選定方法	<b>選定方法</b>			
設置目的	保健、保全機能の発揮される森林の整備	、市民の自然保護	意識の高揚及び教育文化の向上			
指定管理者名	可茂森林組合	指定期間	R3.4.1~R8.3.31			

á	総括 B		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
	事業	収支(円)	-1,027 千円	-3,167 千円	-3,836 千円	-1,688 千円	-2,088 千円	O
	利用料	金比率(%)	8.3	7.7	13.9	14.7	12.3	С
1 1 経	人件	費比率(%)	69.0	66.7	67.0	68.7	65.1	А
営	外部委託費比率(%)		0.04	1.04	1.15	1.70	1.59	А
分		1人当たりの営コスト(円)	575.2	519.7	415.9	400.7	354.4	В
析		1人当たりの	552.7	943,81	363.81	401.4	276.0	В
		㎡当たりの 者数(人)	38	46	63	64	74	В

<sup>※</sup>上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

25	実施事業に関すること	総括	В	一次 評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿ったか。目標を達成したか	事業を	実施した	А	事業計画、設置目的に沿った事業が実施され、入 園者数が大幅に増加し、目標を達成した。
2	収支計画との整合性はあ	収支計画との整合性はあったか		С	適切ではあったが収支は赤字だった。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか		В	適正に実行されていた。	
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に 整えられていたか		А	有資格者の人員配置などが基準より高い水準で整っていた。	
5	公共性・公平性が保たれていたか		В	特例がなく公共性・公平性が保たれていた。	
6	改善指示事項や要望が事業に反映されて いたか		В	利用者のアンケートにより対応を行っていた。	
7	自主事業は適正に実施さ	れていた	<u>-</u> -か	А	積極的な自主事業実施により、入園者数が昨年と 比較して大幅に増加した。

3	総括 B		一次 評価	評価理由等	
1	1 指定管理業務に係る固有の銀行口座が 適正に管理されていたか		В	固有の口座があり適正に管理されていた。	
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか		В	適正に行われていた。	
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に 区分して管理されていたか		С	一部合算で管理されていた。	
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか		В	帳簿は適正に管理されていた。	
5	帳簿を適正に記載・管理 られていたか	する体制	訓が整え	В	体制が整えられていた。

6 現金は適正に管理されていたか	В	金庫に適正に管理され定期的に預金していた。
------------------	---	-----------------------

<b>4</b> )	施設管理に関すること 総括 B	一次 評価	評価理由等
1	1 保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか		職員による目視、専門業者による検査が行われていた。
2	清掃は確実に行われたか		毎日実施されていた。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか		事務所で適正に管理されていた。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか		緊急連絡網が整備されていた。
5	避難経路の安全性は確保されていたか		避難経路には備品等の放置がされておらず、避難 訓練も実施されていた。
6	備品は適切に管理されていたか		適正に管理されていた。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか	В	毎日の見回りによる管理が行われていた。

<b>5</b> +	サービスに関すること	総括	В	一次 評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体 上や稼働率等の向上に取			В	季節ごとに利用時間を変更していた。
2	苦情等の処理は適正かつ か	迅速に行	行われた	В	即日対応できるようにしていた。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整 備・管理されていたか			В	令和6年度は苦情等は無かったが、書類は適正に 整備・管理されていた。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われた か		В	HP、SNS 等を活用し、PRを行っていた。	
5	セルフモニタリングは適正に行われたか		В	アンケート調査を実施していた。	
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上 にいかしたか		В	利用者のアンケート結果に基づき、木育玩具等を積極的に導入していた。	
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか		В	接客対応について問題はなかった。	
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか		А	雇用の調整、必要な料金設定およびネットバンキング 利用による振込手数料の縮減を行っていた。	

6	その他	総括	В	一次 評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の開は適正に行われたか	の管理や	情報公	В	市広報及び組合員だより、SNS 等で発信していた。
2	個人情報が適正に利用・   か	管理され	れていた	В	適正に管理され目的外には利用されていない。
3	環境に配慮した事業を推進したか			А	管理棟の暖房や一部設備は森林整備で発生した 伐木を利用していた。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			В	加入していた。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			В	消防訓練、遊具点検など適切に行われていた。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への 適切な配慮がされていたか		条件への	В	適切に対応されていた。
7	地域との連携・協働は図られたか。 まちづく りに配慮した事業を推進したか		В	地域住民と周辺の整備事業を実施していた。	
8	市と連絡を密にしていたか			В	連絡網を整備し、市との連絡体制が取れていた。

## ●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入一支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、 管理継続性の面で課題となるため、市及び指定 管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入/収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主 たる収入源がどこにあり、それが安定したものであ るかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費/支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費 が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計/支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの 管理運営コスト(円)	支出/延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの 市負担コスト(円)	市の支出/延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの 利用者数(人)	延利用者数/延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

<sup>※</sup>過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

## ●評価の判定基準

① 一次評価	A(優 良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良 好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総 括	A(優 良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良 好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優 良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良 好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

# 指定管理者管理運営状況調書

# 1. 指定管理者・施設の基本情報

令和7年6月5日

指定管理者名	可茂森林組合	担当課	農林課				
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日	選定方法	<del>公募</del> ·非公募(任意指定)				
施設名	みのかも健康の森 <b>施設の種類</b> 森林公園						
所在地	美濃加茂市山之上町7559番地						
設置根拠条例等	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例						
設置目的·役割	·保健、保全機能の発揮される森林の整備 ·市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上						
実施事業	みのかも健康の森の運営、管理						

# 2. 施設の概要

土	敷地面積	2,092,0	96.84 m²	.84 m²		駐車場 台数		約 269 台	
地	内借地面積	2,049,042.84 m²	契約期	間	間 30年		借地料 950,000 [		
	設置形態	市所有 <del>賃貸借</del>	契約期	間		賃借料			
	建物の内容	管理棟、バーベキュー広場、777階段、ファミリーゴルフ					アスレチッ	ック等	
	主要な建物 の建築年月	平成6年	年3月		取得 時期				
	延床面積	1,067.81 m²		構造	S造		階数	1階	
建物	耐震基準	新耐震基準	耐震 診断	不要	耐震 補強	不要	ls值		
	ユニバーサル デザイン化	<del>実施</del> 一部実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他	
	状況	未実施	<del>有</del> ·無	<del>有</del> ·無	有· <del>無</del>	有· <del>無</del>	有· <del>無</del>		
	大規模修繕 実施状況								
	留意事項								

## 3. 管理·運営の現況

開館日数	307 日	休館日	毎週水曜日	開館時間	9:00~17:00 10月~3月は16:00まで
職員数等管理体制	可茂森林組合:嘱言		作業員 7 人、臨時職 1 人	員 4 人 計	15人

# 4. 施設の維持管理コスト等

	(単位:千円)		令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和6年度
		支出合計	21,538	31,804	24,550	27,421	21,812
		人件費	0	0	0	0	0
市		修繕料·工事請負費	5,535	15,884	8,167	11,086	6,294
。 の	支出	光熱水費	0	0	0	0	0
収	I	委託費·指定管理料	14,844	14,474	14,976	15,016	14,407
支		賃借料	950	950	950	950	950
状		その他	209	496	457	369	161
況		収入合計	0	0	0	0	0
	収	使用料·手数料					
	入	その他業務収益					
		業務関連収益					
	(単位:千円)		令和2年度	令和3年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和6年度
	+	支出総合計(a+b)	23,612	25,586	28,062	27,372	28,015
		支出合計(a)	23,612	23,060	25,782	24,727	25,077
		人件費	16,295	17,031	18,810	18,795	18,243
指		事業費	4,919	3,857	4,092	3,635	4,409
定管	支出	維持補修費	384	31	250	35	77
理		光熱水費	1,874	2,001	2,490	2,122	2,208
者		保守点検等委託費	140	140	140	140	140
の		その他	0	0	0	0	0
収土		自主事業支出(b)		2,526	2,280	2,645	2,938
支状		収入総合計(c+d)	22,585	22,418	24,226	25,683	25,927
況		収入合計(c)	16,473	15,787	16,832	17,436	16,766
	収	指定管理料	13,352	13,352	13,352	13,352	13,351
	入	利用料金	1,893	1,738	3,377	3,767	3,187
		その他	1,228	697	103	317	228
		自主事業収入(d)	6,112	6,631	7,394	8,247	9,161

# 5. 施設の利用状況

	令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
開館日数	296	306	307	308	307
森の家利用日数	7	13	32	19	19
教育機関等利用者数	798	112	525	597	622
入園者数	41,047	49,230	67,480	68,310	79,043

部	名称	森の家			平日	%	土日祝	%
屋	午前	%	午後	%	夜間	%	計	6.2%
別	名称				平日	%	土日祝	%
稼	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
働	名称				平日	%	土日祝	%
率	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

# 6. 事業の実施状況

	事業名	企業連携事業	利用者数等	下記記載				
		【豊田合成】						
		4月20日 山林整備60人、5月18日 山林整備·田植え体験45人、						
		9月14日 里山整備35人、10月12日 稲刈り体験 60人、						
		11 月 9 日森林整備 37 人、11 月 29 日 自然共生部視察 80 人、						
	事業内容	3月15日 椎茸打ち、山林整備 90人						
	<b>学未</b> /3位	【中部国際医療センター】						
		5月23日 新入社員研修(森林整備)1	40 人					
		12月8日 里山整備 100人						
		【富士通グループ】						
事		9月28日 里山整備·木工教室 78人						
業	事業名	花飾り教室	利用者数等	下記記載				
の実	事業内容	6月6日 14人、12月5日 15人						
施	事業名	各種自主事業	利用者数等	下記記載				
状	事業内容	4月1日 野草みそ作り 10人						
況		4月21日 苔玉作り11人						
	事業名	つみきマーケット、森のあずまるしぇ	利用者数等	下記記載				
		つみきマーケット:4月 27 日 2,000 人						
	事業内容	森のあずまるしぇ Vol5:5 月 26 日 3,000 人						
		森のあずまるしぇ Vol6:10 月 27 日 2,000 人						
	事業名	ツキイチ自然観察会	利用者数等	下記記載				
	事業内容	園内の自然観察						
	于未17日	5月19日11人、6月16日11人、7月16日7人、9月22日6人						
	事業名	子どものためのグリーンウッドワーク	利用者数等	下記記載				
	事業内容	木工講座						
	争未约谷	7月14日 4人、1月19日 10人	7月14日4人、1月19日10人					
		あじさい祭り 6月13日~7月14日 写真コンクールの開催						
特記事項		11 月 9 日、10 日 みのかも市民まつり出店(へボご飯販売)						
		かまど体験(随時)						
		<u> </u>						

# 7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果·詳細
サービス面	森林環境や園内設備を活用した行事やイベント時の仕出し弁当の受注を継続的に実施した。
コスト面 園内設備や森林空間や伐木を活用したローコストイベントも企画された。	
利用者数·稼働率	新型コロナウイルスによる利用減から回復傾向がみられ、イベント再開など入園者に増加し、目標の 73,000 人を超え、約 79,000 人の入園者数となった。
事業実施状況	入園者数は昨年度より増加しているが、バーベキュー利用状況、食堂・売店売上状況 は減少しており、ファミリーゴルフ利用状況は微増である。 食堂に関しては、食材、人件費の値上げにより収益が減少している。
地域との協働等	地域団体からの園利用についても増加傾向にある。 また継続的に開催される行事も増えている。
その他	炭の販売、仕出し弁当の受注などを開始し、既存事業を活用した自主財源増の取り組 みが行われている。